

【ポイント】

内政

- ラカジェ・ポウ政権運営に関する評価の世論調査結果は、「非常に良い」11%、「良い」30%、「良くも悪くもない」31%、「悪い」17%、「非常に悪い」10%、「分からない・無回答」2%であった。
- 中央教育審議会(CODICEN)は、幼児・初等教育から中等教育(中学まで)を一貫教育とする「統合基礎教育プラン(Plan de Educacion Basica Integrada:EBI)」を承認、2023年から適用される。

外交

- 3日～12日、ブスティーゴ外相は、スペイン、ベルギー、フランス、ドイツを訪問、メルコスールEU・FTA等について協議。
- 26日、第77回国連総会においてブスティーゴ外相は一般討論演説を実施、また、グテーレス国連事務総長と会談を行った。
- 26日、ブスティーゴ外相はジェランディ・チュニジア共和国外務・移民・在外チュニジア人大臣及びルトノ・L・P・マルスディ・インドネシア外相との会談を実施。

経済

- 2022年第2四半期における当国経済は成長に転じ、対第1四半期(1月～3月)比1.1%増となった。

【本文】

1 内政

(1)ラカジェ・ポウ政権運営に関する評価の世論調査結果

1日、当国世論調査会社 OPCION 社は、8月18日から8月29日にかけて全国18歳以上の801名を対象としたラカジェ・ポウ政権運営に関する評価の世論調査結果を発表。「非常に良い」11%、「良い」30%、「良くも悪くもない」31%、「悪い」17%、「非常に悪い」10%、「分からない・無回答」2%であった。

(2)政治家の人気度に関する世論調査

15日、当国世論調査会社 EQUIPOS 社は、8月19日から9月5日にかけて全国18歳以上の704名を対象にした当国政治家の人気度に関する世論調査結果を発表。国民からの好感度の高い政治リーダー上位10名は以下のとおり。

- ア ラカジェ・ポウ大統領(与党国民党):47%
- イ ムヒカ元大統領(野党拡大戦線:FA):45%
- ウ オルシ・カネロネス県知事(FA):36%
- エ コッセ・モンテビデオ県知事(FA):36%
- オ アストリ上院議員(FA)(第一次、第二次バスケス政権経済財務大臣):34%
- カ サリーナス厚生大臣(連立与党カビルド・アビエルト党):31%
- キ デルガド大統領府長官(国民党):31%
- ク アルベレチェ経済財務大臣(国民党):30%

ケ アルヒモン副大統領(国民党):28%

コ サンギネッティ元大統領(連立与党コロラド党):28%

### (3)国民の懸念事項に関する世論調査結果

20日、当国世論調査会社 CIFRA 社は、8月4日から8月14日にかけて全国18歳以上の705名を対象にした国民の懸念事項に関する世論調査結果を発表。最も回答数の多かった懸念事項は「経済問題」であり、全体の46%を占めた。そのうち「雇用不足」が20%、「インフレ・給与・貧困」が15%、「経済状況」が11%であった。また二番目に懸念される問題として治安が挙げられ、30%に上った。

### (4)教育改革「統合基礎教育プラン」の承認

21日、中央教育審議会(CODICEN)は、幼児・初等教育から中等教育(中学まで)を一貫教育とし、これまでの中学1年~3年を基礎教育7年~9年に変更する「統合基礎教育プラン(Plan de Educacion Basica Integrada: EBI)」を承認した。今次改革内容は、初等教育から中等教育における教育の一貫性を持たせることが目的であり、2023年から適用される。

## 2 外交

### (1)ブスティージョ外相の欧州訪問

3日~12日、ブスティージョ外相は、スペイン、ベルギー、フランス、ドイツを訪問し、各国政府外相やEU関係者等との間でメルコスールEU・FTA等について協議を行った。ベアボック・ドイツ外相との会合では、環境問題への懸念及び、代替エネルギーとしてのグリーン水素の活用に関する協議が行われた。

### (2)ブスティージョ外相による第77回国連総会一般討論演説

26日、第77回国連総会においてブスティージョ外相は一般討論演説を行った。ブスティージョ外相は、演説の中でロシアが戦争行為を止め、ウクライナ領土から直ちに撤退することが急務であること、今日の国際社会は平和と国際安全保障、環境及びグローバルヘルスといった3つの大きな課題に直面しており、多国間システムの強化が不可欠であること、ウルグアイの国連平和維持活動への支援を再開していること等について言及した。

### (3)ブスティージョ外相のグテーレス国連事務総長との会談

ブスティージョ外相は、グテーレス国連事務総長との会談でウルグアイの長年にわたる PKO 活動への貢献について改めて説明。また、同外相はウルグアイの懸念事項として、一人当たりの所得に特化した開発概念を刷新する必要性を改めて強調。

### (4)ロシアによる「住民投票」に対する立場表明

26日、当国外務省は、ウクライナ暫定被占領地再統合省が、ロシアがウクライナ占領地で実施した「住民投票」の正当性を保証する国の中にウルグアイが含まれていたとの文書を発表したことに対するウルグアイ外務省の明確な立場を説明するプレスリリースを発出。ウルグアイ政府は、ロシアの行った「住民投票」を支持すると表明したことはなく、この明らかに違法な「住民投票」を国家当局が保証するということを直接的にも間接的にも示唆するような行為や発言は存在しないと表明した。

### (5)ジェランディ・チュニジア共和国外務・移民・在外チュニジア人大臣との外相会談

26日、国連総会出席のためニューヨークを訪問中のブスティージョ外相はジェランディ・チュニジア共和国外務・移民・在外チュニジア人大臣と会談を実施。両外相は、外交官学校の協力に関する覚書、二国間政策協議のメカニズム設立のための協定、及び外交パスポート保持者の査証免除に関する取極の3つの協定に署名を行った。

#### (6)ルトノ・L・P・マルスディ・インドネシア外相との外相会談

国連総会出席のためニューヨークを訪問中のブスティージョ外相は、ルトノ・L・P・マルスディ・インドネシア外相との会談を実施。ブスティージョ外相は、二国間及びメルコスールの枠組みでのインドネシアとの貿易関係強化に関する特段の関心を表明し、貿易関係強化によって、国際経済貿易参入戦略の優先事項としての東南アジア諸国との連携強化に引き続き取り組んでいく旨主張。

#### (7)汎米保健機構(PAHO)事務局長選挙

28日、汎米保健機構(PAHO)事務局長選挙第2回投票が実施された。サリーナス厚生大臣は同選挙候補者であったが、第1回投票ではウルグアイ、ペルー、エルサルバドル及びパラグアイからの4票を獲得。その後28日の第2回投票では票を獲得できず落選した。なお、今次選挙によりブラジルのジャルバス・バルボサ氏が選出され、2023年2月1日から5年任期でPAHO事務局長に就任することになった。

### 3 経済

#### (1)第2四半期の経済成長

当國中銀の報告によると、2022年第2四半期における当国経済は成長に転じ、対第1四半期(1月～3月)比1.1%増となった。また、前年同期比(4月～6月)7.7%増に拡大した。当國中銀によると、今次経済成長の主な理由は、大豆の収穫量の増加及び国内衛生環境の正常化によるものとされる。

#### (2)プラド博の開催

9日～18日にかけて「プラド博」(ウルグアイ最大の農牧見本市)が開催され、ラカジェ・ポウ大統領は、アルヒモン副大統領、マツス農牧水産大臣他閣僚らとともに同博覧会に出席した。

### 4 要人往来

#### (1)往訪

- ・3日～12日:ブスティージョ外相のスペイン、ベルギー、フランス、ドイツ訪問(メルコスール議長国としてのEU・メルコスールFTA交渉深化を目的とした訪問。)
- ・6日～10日:パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣のドイツ訪問(グリーン水素と電力に関する会議出席。)
- ・17日～20日:ブスティージョ外相の英国訪問(エリザベス女王陛下の国葬出席。)
- ・21日～24日:マツス農牧水産大臣のコスタリカ訪問(気候変動に関する国連枠組条約における農業会議等出席。)
- ・23日～10月2日:パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の韓国訪問(第6回韓国ラテンアメリカビジネスサミット出席。)
- ・23日～10月2日:サリーナス厚生大臣の米国訪問(第30回汎米保健機構衛生会議等出席。)
- ・24日～26日:ブスティージョ外相の米国訪問(第77回国連総会出席。)

#### (2)来訪

特記事無し。